

高校生のメタ認知はどのように習得されるのか

中村 拓也（東京家政大学大学院生）

キーワード：メタ認知ストラテジー，ストラテジー指導，高校生

1. はじめに

本研究では、指導されたメタ認知ストラテジーを高校生が習得していく過程、および習得を妨げる要因について調査した。自己調整学習やメタ認知ストラテジーの有用性は、以前から指摘されている(Wenden, 1987)。また、学習が教室外の社会で学習した言語を利用できる機会が少ない場合には、自己調整学習はとても大切である(Cotterall & Murray, 2009)。

Graham & Macaro(2008)など多くの研究は、listening 等の特定のタスク繋がるために使用されるメタ認知方略の有効性について焦点が当たっているが、ストラテジー指導の効果は、指導の長さ、種類などが様々であるため、まだ確立されていない。

そこで、メタ認知を習得する過程とその障害を明らかにすることが必要である。日本人大学生対象の調査では、学習者は自身の英語学習を何とかしたいという強い願望を持ち、メタ認知方略の有用性を再認識するが、他者からの強制がないことや方略使用時に感じる心理的負担も、習得を妨げる要因になっていることが分かっている(Ikeda, 2013)。

しかし、日本人高校生の英語学習に対して上記の検証を行っている研究は私の見た限りない。そこで、以下の2つの研究課題を設定した。

2. 研究課題

- (1) 高校生は学習したメタ認知ストラテジーをどのような過程で習得するのか。
- (2) 高校生がメタ認知ストラテジーを習得する際、障害となり得るものは何か。

3. 研究方法

(1) 研究参加者

研究参加者は、都内私立高校に在籍する高校1年生12名。男子5名、女子7名。

(2) ストラテジー指導

Ikeda(2013)に基づき、毎週放課後の30分の指導を9週間実施した。メタ認知ストラテジーに加え、認知ストラテジーとメタ認知的知識を使用することは、メタ認知ストラテジーの発達に重要であることから(Ikeda, 2013)、メタ認知ストラテジーの指導に加え、認知ストラテジーとメタ認知的知識の指導も併せて実施した。ストラテジー指導の際のハンドアウトには、Ikeda(2013)で使用されたものを高校生向けに改良したものを使用した。そこには、指導するストラテジーを使用することや指導する知識を保持することの目的と利点、指導するストラテジーや知識の説明と例、そして指導したストラテジーや知識を使用する活動がそれぞれ含まれている。

Week	Topic
Week 1	Metacognitive Strategy (Goal Setting in Studying)
Week 2	Strategy for Listening
Week 3	Metacognitive Knowledge (on Tasks, Learners, and Strategies)
Week 4	Strategies for Speaking
Week 5	Metacognitive Strategies (Reflecting, Evaluating, and Revising One's Study)
Week 6	Strategies for Vocabulary
Week 7	Strategies for Reading (1)
Week 8	Strategies for Reading (2)
Week 9	Metacognitive Strategies (Ensuring Opportunities for Intensive Learning)

(3) データ収集方法

研究参加者は、授業外学習の学習日記を作成し、提出する。日記は随時回収し、メタ認知に関する記述があった場合、後日 *stimulated recall interview* を実施した。インタビューでは、ストラテジー指導時に使用したハンドアウトと、研究参加者自身が作成した学習日記を提示しながら、特定にメタ認知方略を使用した理由と、学習日記記載の不明瞭な部分を確認した。

(4) 分析方法

Ikeda(2013)に基づき、(3)のインタビューを録音したものを活字化し、M-GTA で分析を行った。

4. 結果

高校生は自分の英語学習を何とかしたいという感情を持ち、主に成功や失敗の経験を通して自らの学習を振り返り、計画を立てることができると同時に、計画の重要性は認識しつつも、その実行には適度な強制力を必要としていることなどが明らかになった。

5. 引用文献

- Cotterall, S. & Murray, G. (2009). Enhancing metacognitive knowledge: Structure, affordances and self. *System*, 37, 34–45.
- Graham, S., & Macaro, E. (2008). Strategy instruction in listening for lower–intermediate learners of French. *Language Learning*, 58, 747–783.
- Ikeda, M. (2013). How Do Learners Incorporate the Metacognitive Strategies Taught in the Classroom into their Strategy Repertoires?. 『関西大学外国語学部紀要』 8, 115-131.
- Wenden, A.L. (1987). How to be a successful language learner: Insights and perceptions from L2 learners. In A.L. Wenden & J. Rubin (Eds.). *Learner strategies in language learning*. (pp.103–117). Englewood Cliffs: Prentice–Hall International.